

【調査ご協力のお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、行田市では「子ども・子育て支援法」に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図ることを目的として、「行田市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、市民の皆様の子育ての実態やご意見等をお聞きすることになりました。

この調査は、計画策定にあたり、住民基本台帳から就学前のお子さん2,000人を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

全国的に行われる調査でもあり、設問数が大変多くなっていますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

行田市長 工藤正司

【ご記入にあたってのお願い】

- 1.特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 2.アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 3.選択肢がある場合は、番号を○で囲んでください。○の数は質問の最後に（○は1つ）とか（○はいくつでも）と示してあります。
- 4.回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 5.数字（年齢や時間等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。なお、時間については、24時間制（午後6時の場合は18時）でご記入ください。
- 6.質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- 7.ご記入がすみましたら、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて平成26年1月24日（金）までにご投函ください。
- 8.記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

行田市健康福祉部子育て支援課

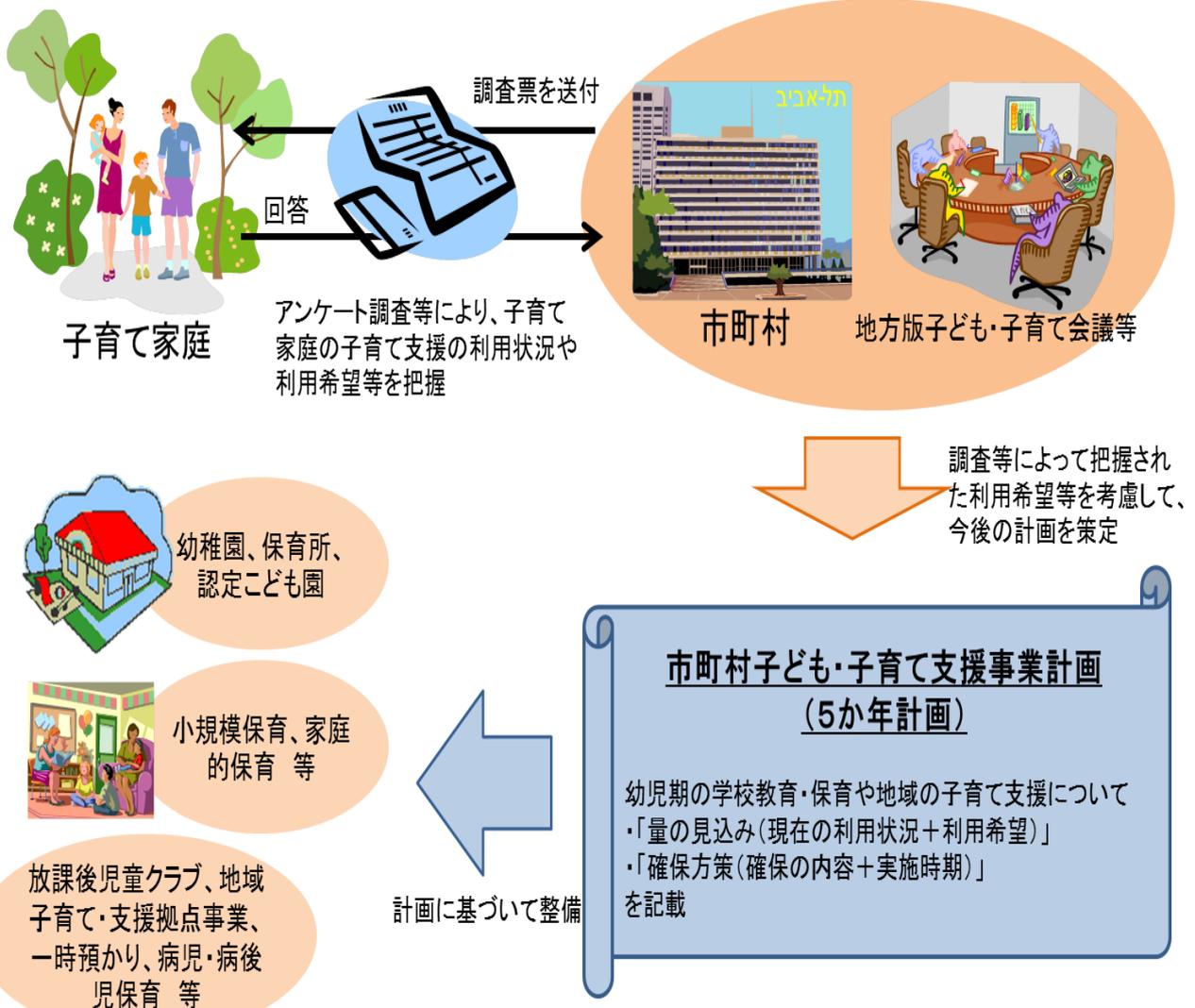
TEL 048-556-1111（内線292）

回答するに当たってお読みください

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するため、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します（新制度は平成27年度から実施予定）。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(子ども・子育て支援新制度の趣旨)

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）。
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）。
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域は、どの学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 小学校区

1. 東小学校区	2. 西小学校区	3. 中央小学校区
4. 南小学校区	5. 北小学校区	6. 北河原小学校区
7. 荒木小学校区	8. 須加小学校区	9. 埼玉小学校区
10. 星宮小学校区	11. 太田西小学校区	12. 太田東小学校区
13. 下忍小学校区	14. 泉小学校区	15. 桜ヶ丘小学校区
16. 南河原小学校区		

(2) 中学校区

1. 忍中学校区	2. 行田中学校区	3. 長野中学校区
4. 見沼中学校区	5. 埼玉中学校区	6. 太田中学校区
7. 西中学校区	8. 南河原中学校区	

問1-1 小学校区、中学校区が不明な場合に限り、お住まいの地区名をご記入ください。

記入例： 本丸、長野〇丁目 など (地番等は記入不要です)

※問1の(1)(2)で小学校区、中学校区両方に○をつけていただいた方はご記入不要です。

行 田 市 ()

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数	<input type="text"/>	人	末子の生年月月	平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
--------	----------------------	---	---------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他() |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 | 8. その他() | | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他() | | | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他() | ⇒ 問10へ |

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ (1) -1へ ⇒ 問14へ
---	-------------------------------------

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
---	--

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時
--	--

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ (2) -1へ ⇒ 問14へ
---	-------------------------------------

(2) -1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ

2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園

（通常の就園時間の利用）

2. 幼稚園の預かり保育

（1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕）

3. 認可保育所

（都道府県等の認可を受けたもの）

4. 認定こども園

（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）

5. 家庭的保育

（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業〔保育ママ〕）

6. 事業所内保育施設

（企業が主に従業員用に運営する施設）

7. 家庭保育室・ナーサリールーム

（市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設）

8. その他の認可外の保育施設

9. 居宅訪問型保育

（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）

10. ファミリー・サポート・センター

（保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）

11. その他（ ）

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	--	---	--	--

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	--	---	--	--

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 行田市内	2. 他の市町村 (<input type="text"/>)
---------	-----------------------------------

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他 (<input type="text"/>)

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 (<input type="text"/>)

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) 〔平均利用料(月額): 30,000円程度〕 ※所得に応じた利用料補助あり	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕)
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上)) 〔利用料(月額): 0~60,000円 (平均19,200円程度)〕 ※所得・児童年齢に応じた利用料設定	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 〔利用料: 1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕
5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 〔利用料は認可保育所と同様〕	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい	8. 家庭保育室・ナーサリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 〔平均利用料(月額): 50,000円程度〕
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 〔平均利用料(1時間): 800円程度〕	12. 駅前保育ステーション (駅を利用して通勤する方を対象に、お子さんを駅近くの保育ステーションでお預かりして朝晩通所している保育所へ送迎する事業)
13. ホームスタート (未就学児のお子さんがいる家庭にボランティアが訪問し、「傾聴(話を聞く)」や「協働(一緒に何かをする)」などの活動を行い、親が心の安定や自信を取り戻し、地域へ踏み出していくきっかけづくりを支援する事業)	14. その他 ()

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 行田市内

2. 他の市町村 ()

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：)

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業には、一定の利用者負担が発生する場合があります。〔利用料：基本無料（飲食や教材費などは有料となります）〕

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦子育て支援ガイドブック	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）。〔事業ごとに利用料がかかります〕

1. 利用したい		計	□ □ 日
問 24-1 へ	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		□ □ 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		□ □ 日
	ウ. 不定期の就労		□ □ 日
	エ. その他（ ）		□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ			

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ） |
|---|

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りかけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□ □ 泊
	エ. 子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	カ. その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
〔平均利用料（月額）：7,000円程度〕

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4. 児童館 ※1	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
		→ 下校時から	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。 ※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/>	日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/>	日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
3. 利用する必要はない			

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
3. 利用する必要はない			

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
3. 利用する必要はない			

(2) 父親

- | |
|--------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |
| 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

(2) 父親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。